

チーム名	都市デザイン研究室	大学名・学部	筑波大学・人間総合科学学術院・人間総合科学研究群・芸術学学位プログラム	福島復興ステージ
プラン名称	かつらうお～た～いったび！！＊人口480人+αの一体旅＊			
リーダー名	大野 紗英	メンバー名	大竹 彩乃・大野紗英	
指導教職員名	野中 勝利			

選定地域：葛尾村

- ・震災前1,567名いた人口は現在480名
- ・浪江町とは川が繋がっているが通行止め

葛尾村の課題

- ・楽しく働ける場所・住民が幸せに暮らすための観光が必要である
- ・住民にも来訪者にも葛尾村の魅力をもっと発信していく必要がある
- ・葛尾村が目的地となるように、この地域だからこそできる体験を提供する

現地調査で見つけた魅力

①超軟水 ②空の青さ ③人の温かさ

これらの魅力は村にとって日常である。しかし、訪れる人にとっては非日常で特別な時間。その感動を共有し訪れる人から住む人へと繋がるプランを目指す。

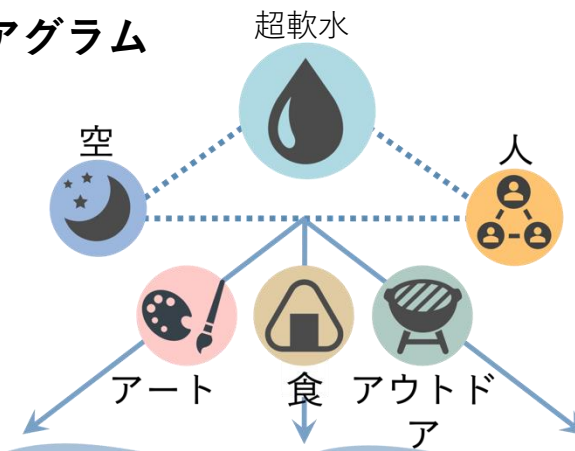
新規性

- ・食・アウトドア・アートの3つを通底する超軟水というコンテンツ
- ・村全体を巻き込み、一体感を創る試み
- ・葛尾川を介し相双地域に波及する
- ・人口480人+αに魅力を訴求する
- ・現在の村の規模を一体感としてポジティブに捉える
- ・帰還困難区域の存在を未来への可能性として捉える

課題の解決策

かつらうお～た～いったび！！の提案
葛尾の超軟水を魅力的なアクティビティへと展開し暮らす人と訪れる人が感動を共有する一体旅。

コンセプトダイアグラム

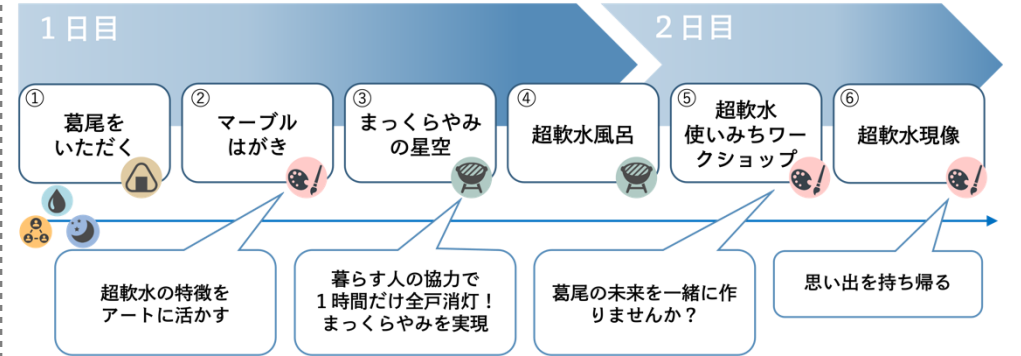


かつらうお～た～いったび！！

＊人口480人+αの一体旅＊



プラン詳細



実現計画

協力了承済み：葛力創造舎の森さまと連携して超軟水ワークショップやマーブルはがきなど超軟水を活かしたアートを提供する。葛尾村役場の皆さまと連携して1時間だけ全戸消灯の協力を仰ぐ。人口480人の村だからこそ実現可能な「まっくらやみの星空」で感動を共有する。

超軟水ラベルデザイン提案

浪江町との連携を見据え、浪江ウォーターの姉妹ボトル「かつらうおーたー」を商品化する。

超軟水の特徴である柔らかさをぼかして表現

復興の一端を担う胡蝶蘭



効果

暮らす人

- ・超軟水をはじめとした葛尾村の魅力に気づき、村をもっと好きになる
- ・訪れる人と感動を共有することでシビックプライドを醸成する
- ・村に参画する意識の向上

訪れる人

- ・葛尾村の魅力に触れ、村に関わり続けたいくなる（リピーターになる）
- ・暮らす人と感動を共有することでシビックプライドを醸成する
- ・訪れる人から暮らす人へと繋がる

地域全体

- ・超軟水が葛尾のイメージとして根付く
- ・プランをきっかけに訪れる人から暮らす人へと、村の人口増加に繋がる
- ・近い将来、葛尾川を介して浪江へ、そして相双地域全体へとプランそのものが波及する